

今年の5月から元号が平成から令和に変わり、早や8ヶ月が過ぎ12月（師走）を迎えました。

令和の語源は希望に満ちあふれた新しい時代を切り開いていくことを願うと共に、若い世代が活躍できる時代であって欲しいとの願いが込められているそうです。

さて、その年の4月に児童福祉法及び児童虐待防止法に関する法律の一部改正が行われました。これまで幾度となく児童虐待防止法の改正もなされていますが、国などの調査研究の報告書等によりますと、全国的に虐待数は増加の一途を辿っており虐待に歯止めがかからないのが今日の現状と言えます。虐待は何故起きるのか！虐待する側（大人）とされる側（子ども）との間に複雑で多岐に亘る問題が横たわっているだろうと思います。しかし少なくとも子どもたちには全く責任はなく、虐待する大人側の責任と言えますが、しかし虐待する側（大人）の思いは少なからずその人の育ちが大きく影響していると言えるのではないのでしょうか！よく言われる言葉に、虐待の連鎖という言葉がありますが、自分もそのようにして育てられてきたから仕方がないというようなことですが、どこかでその虐待の連鎖を断ち切らなければいつまでも虐待は無くならないのではないのでしょうか。保育に携わる私たち保育者が、日々の園活動の中で子どもたちが安心とやすらぎ・信頼感が感じられるように、温かい思いやりを持って子どもたちと関わっていくことも、虐待が少しでも無くなる道筋の一つではないかと考えます。2018年・2019年と立て続けに起きた東京都や千葉県の実惨な虐待死亡事件は私たちの記憶に新しいところですが、そのような事件が2度と起きないように願うばかりです。

さていよいよ0・1・2歳児の生活発表会が12月7日に迫って参りました。1回目のリハーサルを11月後半に行いましたが、とても愛らしく、元気いっぱい子どもたちの演技に改めて子どもの素晴らしさを実感し、大変有意義な時間であったように思います。本番12月7日には元気いっぱい子どもたちの日々の遊びや活動の在りのままの様子をご覧いただけたらと思っています。

この時期風邪やインフルエンザが活発に流行する時期でもあります。子どもも勿論のこと職員も手洗いやうがいの励行に留意しながら保育を進めていければと思っています。

令和2年の新しい年が子どもたちにとって光輝く年でありますよう心から願っています。

園 長

